

第72回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会
開催に際するガイドライン、申し合わせ事項

【基本事項】

1. **無観客開催**とする → 保護者、関係者への周知
2. 日々の体調管理と検温を実施し参加生徒の健康状態を各校顧問で把握すること。
なお、**競技会開催前7日間および開催後14日間は所定の健康チェックシートに必要事項を記録し、必要に応じて提出することができるようにしておくこと。(各校で回収し保管)**
3. 「3密」の回避
 - *ソーシャルディスタンスの確保。
 - ・**競技場のスタンド席を利用する場合は席を最低2人分は空けて座ること。(競技場ガイドラインを遵守すること)**
 - ・**各校待機場所テントは最小人数で利用すること。**
 - ・近距離での会話や発声・高唱を避ける。
 - ・十分な換気。
 - ・更衣室の滞在を短時間にする。(シャワーの使用は禁止する)
4. 感染症対策
 - (1) **入場ゲートにおいてサーモグラフィーによる体温チェックを実施する。**
 - (2) **マスクの着用**
 - ・選手は運動以外の場面(待機場所、招集所、移動時など)では必ずマスクを着用すること。
 - (3) **手洗い、手指消毒の徹底**
 - ・競技前、競技後の手洗い。
 - ・手指消毒用アルコール液の設置。
(入場ゲート付近、更衣室、招集所、役員控室、トイレ、トラック競技のフィニッシュ地点付近、フィールド競技の待機場所等)
 - ・手洗い場の石鹸の設置。
 - *競技役員・補助員の任務内容によってはゴム手袋を着用する。
 - (4) **「兵庫県コロナ追跡システム」への登録を推奨する。**
5. 競技会への参加について(選手、補助員、大会役員・競技役員、報道関係者)
 - ***参加生徒については、各校で本ガイドラインに同意し遵守することを確認のうえ、保護者の承諾を得ていること。**
 - ***参加校は所定の参加者名簿を大会期間中、役員受付時に毎日提出すること。**
(競技場ガイドラインによる)
 - *大会役員・競技役員、報道関係者にはADカードを発行する。
 - *下記の①～④の場合は参加を認めない。
 - ①競技会当日の朝の検温で体温が37.5℃を超えた場合。
 - ②発熱がなくても風邪症状や体調不良がある者。
 - ③過去2週間以内に、風邪・感冒症状(発熱・せき・鼻水など)で受診や服薬をした者。
 - ④同居家族や知人・友人に感染が疑われる人がいる場合。

【競技運営面での対策】

1. 競技日程
 - *招集時刻、招集組数の分散化・細分化を図ったタイムテーブルの設定。
 - ①トラック競技
 - ・スタート付近の待機場所における「3密」の回避。(2～3組ずつ誘導)

②フィールド競技

- ・競技待機場所でのソーシャルディスタンスの確保。(特に公式練習前の注意事項等の説明時)
- ・用器具類の共用は避けられないので、競技後の手洗い、手指消毒を徹底させる。

2. 招集方法

- ・招集場所をトラック競技は雨天練習場、フィールド競技は100mスタート側ゲート付近競技場外に設ける。
- ・招集組数、開始時刻の細分化により招集所での滞在を短時間にする。

3. その他

- ・給水を実施する場合は、感染防止対策に十分留意すること。
- ・長距離・競歩種目においては、先頭から著しく遅れた場合は競技を打ち切る。
(打ち切り時間を設定しそれを超えて次の周回には入らせない)
- ・記録および番組編成の掲示については、Webの活用により「3密」を回避する。

【その他の対策】

1. **学校受付を大会前日の午後の時間帯にも設定し、大会初日受付時の密集・混雑を回避する。**
2. 競技会当日朝の競技場への入場、競技会終了後の退場ゲートを分散させる。
3. 競技会終了後は速やかに帰宅させる。
4. 各校待機場所について
 - ・他校の待機場所との距離を離す。
 - ・各校、各自での消毒液の準備を要請する。
5. 清掃の簡略化
 - *ゴミは各自持ち帰りとする。**
6. 応援について
 - ・感染防止のため、声を出しての応援(ラップタイムの読み上げも含む)、集団での応援は禁止する。(手拍子などは可とする)
7. ミーティングについて
 - ・感染防止対策を講じて、連絡事項など必要最小限のものにとどめ短時間で終える。
8. 大会参加者・関係者(保護者含む)への周知
 - ・別紙「大会参加者・保護者の皆様へのごお願い」のHP掲載と各校での周知・徹底。